

●ブックトークシナリオ

- 【テーマ】 林間学校に行こう！
- 【対象】 小学校5年生
- 【所要時間】 25分
- 【用意する物】 調べ方を示すための樹木の葉を1枚。実がある樹木なら、可能であれば実もあるとよい。（例えばシラカシの葉1枚と実1つ）
- 【事前準備】 用意した樹木の葉や実を、紹介する『おもしろ樹木図鑑』を使い、あらかじめ調べて種類を特定しておく。

シナリオの記載方法について

- ・動作は□で囲ってあります。
- ・表示したページ番号は、ここで使用した本によります。版が違う場合は、確認してください。
- ・本を朗読する部分は、【 】で囲った太字になっています。
- ・本と本をつなぐ言葉は二重下線を引いてあります。

【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	おもしろ樹木図鑑	林将之／著	主婦の友社	2021
2	冒険図鑑	さとうち藍／文 松岡達英／絵	福音館書店	1985
3	森のスケーターヤマネ	湊秋作／著 金尾恵子／絵	文研出版	2000
4	読みがたり山梨のむかし話	山梨国語教育研究会／編	日本標準	2004

【シナリオ】

●導入

皆さんは、もうすぐ林間学校で八ヶ岳に行きますね。今日は「林間学校に行こう！」というテーマで本を紹介します。

1 『おもしろ樹木図鑑』

山梨県は周囲を山に囲まれているので、どちらを向いても山が見えます。南には富士山があり、北には林間学校で行く八ヶ岳があります。八ヶ岳やその周辺には様々な木が生えています。木の名前を知りたいときには本で調べられます。

表紙を見せる

この本『おもしろ樹木図鑑』は **p.2 1～10行目を読む**【木は、花や実がついていないことも多く（中略）解説ページで確かめて下さい。】と書かれ、葉っぱから調べる方法をすすめています。 **p.3～19の表と写真を一部見せる**。「葉っぱ一覧」です。 **p.20～23の写真を見せながら**「花の色別一覧」や、 **p.24～27の写真を見せながら**「実の色別一覧」、 **p.28～p.29の写真を見せながら**「樹皮一覧」と「樹形（木の形のこと）一覧」も参考になります。

樹木の葉と実を見せる。 この葉と実は、県立図書館の近くに生えている木の下で拾いました。 **p.3の「葉っぱ検索表」を見せる。** 「葉っぱ検索表」で調べてみましょう。葉の形がスタートです。「さけない葉」「さける葉」「針状の葉」など選べますが、これはさけていないので「さけない葉」。次の「葉のふち」は「ギザギザ」か「なめらか」のどちらか。どちらかということ「ギザギザ」。葉のつき方は、「交互につく」か「対につく」から選ぶと「交互」についている。最後に「落葉樹」か「常緑樹」は

冬も葉があるので「常緑樹」を選びます。すると「葉っぱ一覧」ではBグループ「ギザギザ・交互・常緑」p.6とあります。**p.6 写真を見せる**Bグループの葉の写真を見てみると、似ている葉がいくつかあります。**p.27「どんぐり一覧」の写真を見せながら**「どんぐり一覧」で実を確かめると、「小型で細目」と解説に書かれている「シラカシ」のどんぐりに近い形です。

p.77 シラカシのページを見せてシラカシのページで葉と実、樹の形、樹皮を確認すると、特徴が一致するので、この葉はシラカシの葉だということがわかります。

林間学校の時に、落ちていた葉や実を拾ったり、木をスケッチしたら、この本で木の名前を調べてみてください。

この本は木の名前が分かるだけではなく、木の**p.1 7行目を読む**【びっくりするようなスゴ技や、ヘンテコな個性、不思議な特徴】を紹介しています。例えば白い幹のシラカバの特徴はこう書かれています。**p.43 5～9行目を読む**【幹がオレンジ～白色のダケカンバも似ていますが、(中略)雨の日でも燃えます。】とあります。

植物の知識を身につけると、どんなよいことがあるでしょうか。**p.1 1～3行目を読む**【植物を知ると、無人島や山奥で遭難しても(中略)雨の日でも燃える木などがわかるようになるからです。】植物を知ると、万が一山奥で遭難しても役に立つことがわかりました。山に冒険に出かける前に知っておきたい知識は他にもあります。

2『冒険図鑑』

表紙を見せる

この『冒険図鑑』では、**p.2 6～9行目を読む**【行動に移す前は慎重に計画を立て、(中略)それがこの本でいう冒険なのだ】と言っています。

p.31のイラストを見せる野外生活に必要な知識の靴の選び方・履き方、**p.37のイラストを見せる**歩き方、**p.57のイラストを見せる**ザックへの荷物の詰め方・背負い方、**p.74～75のイラストを見せる**天候予測、**p.323のイラストを見せる**遭難した時のSOSのサインの出し方や**p.342～343のイラストを見せる**怪我などへの対応を読んでみましょう。「疲れないで長時間歩くコツ」が分かったり、困った時に役に立つ知識が身につきます。

また、野外で楽しく過ごすために、**p.242～243のイラストを見せる**草花遊びや**p.276～277のイラストを見せる**植物や虫の観察、**p.286～287のイラストを見せる**動物の足跡や**p.288のイラストを見せる**ふんを探すヒントが紹介されています。

この本の中に、野外の冒険をする前に知っておきたいと思ったことがありましたか？**子どもの発言(例「歩き方!」)を聞く。**

林間学校やキャンプ、山登りに行く前には、この『冒険図鑑』を読み、しっかり準備をして出かけてください。

3『森のスケーターヤマネ』

『冒険図鑑』では動物の足跡の見分け方や、ふんを探すヒントが紹介されていましたが、八ヶ岳の麓の森にすむ、夜行性の小さな動物を知っていますか？**子どもの発言(例「モモンガ」)を聞く。**

表紙を見せ、ヤマネを指す答えはヤマネです。

p.8～9の写真を指す。木のうろのなかで冬眠していたヤマネのチッチは、5月にゆっくりと目を覚ましました。チッチは1年前の夏に生まれたメスです。

p.13の写真を見せながら p.12 1～7行目を読む【チッチの体重は十八グラム。(中略)約五センチです。】この写真は「手の上のヤマネ」です。両方の手のひらに収まってしまいう大きさですね。冬眠中何も食べていなかったチッチはお腹がすき、カラマツの花粉を食べました。

p.19 8～11行目を読み p.21の絵を見せる【冬眠から覚めて(中略)こみあげてきました。】チッチに、2匹のオスが近づいてきました。2匹はチッチをめぐる争っています。

p.29 2～5行目を読む【交尾から三十一日目の朝チッチは(中略)赤ん坊を産みました。】

p.30の絵を見せる子どもは4頭生まれ、チッチはコロたちにおっぱいをあげます。

p.41 2～3行目を読む2週間ほどすると【子どもたちは目が開き、(中略)感覚器官も発達してき

ました。】

p.43 11～12 行目を読む【一人前のヤマネに（中略）学習していきました。】子どもたちは小さな虫などを食べるようになり、生後40日ごろ巣立ちました。

p.73 12 行目～p.75 3 行目を読み、p.74 を見せるチッチは秋の間にたくさん食べて太り、再び冬眠に入ります。【チッチは冬眠している六か月間、何も食べません。（中略）節約しながら眠っているのです。】

著者の湊秋作^{みなとしゅうさく}さんは大学2年生の時からヤマネの研究をしてきました。**p.80 15～16 行目を読む**【この本で紹介したチッチの一年の生活は、これまでの研究でわかったことをまとめたものです。】湊さんがヤマネについて書いた本は他にもあるので、ぜひ読んでみてください。

4 『読みがたり山梨のむかし話』

p.229 のイラストを見せる最後に『読みがたり山梨のむかし話』より、八ヶ岳に伝わる昔話、「八ヶ岳のおいたちと美し森」を読みます。

p.228～231 の「八ヶ岳のおいたちと美し森」を全文読む

●まとめ

紹介した本の表紙を順に見せ、本の書名を言う

林間学校に合わせて読んでほしい本を4冊紹介しました。最初は、樹木の名前の調べ方と、樹木の特徴がわかる『おもしろ樹木図鑑』。次に、野外生活に必要な知識と楽しみ方がわかる『冒険図鑑』。そして、森にすむ小さな動物ヤマネの1年を紹介した『森のスケーターヤマネ』。最後は、八ヶ岳に伝わる昔話が載っている『読みがたり山梨のむかし話』です。今日紹介した本は、全部図書館にありますので、ぜひ読んでみてください。

【その他の本】こちらの本もおすすめです。また、ご自身で追加・差替えをするなど工夫してみてください。

- ・『動物たちを救うアニマルパスウェイ』湊秋作／著 文研出版 2017年
- ・『未知なる冒険の書』名もなき冒険家／文・絵 テディ・キーン／原書編集 葉山亜由美／訳 トゥーヴァージンズ 2022年
- ・『みちかな樹木のえほん』国土緑化推進機構／編 平田美紗子／絵 ポプラ社 2018年
- ・『森は生きている』富山和子／作 大庭賢哉／絵 講談社 2012年

(山梨県立図書館 2024年3月)